

滝川の国際交流員



国際交流員（CIR）は、市内の学校で児童・生徒と交流を行ったり、イベントで自国の文化を紹介したりと、地域の皆さんに国際理解を深める活動を行っています。また、多言語による資料作成やパンフレットの翻訳など、母国語を生かしたサポートも担っています。

これまでに本市では、36人の国際交流員がさまざまな形で活動し、国際交流の輪を広げてきました。

今回は、現在活動している2人の国際交流員をご紹介します。



モンゴル出身国際交流員
ドゥゲルジャブ
・ノミンチメドさん

モンゴルで暮らしていたころ、ニュースや映画で日本の文化を知り、いつか行ってみたいという憧れを抱くようになり、1年間日本語の勉強を行い、日本の大学に入学しました。

大学を卒業してからも、モンゴルで日本に関わりのある仕事をしていました。そんな中、滝川市の国際交流員の募集を見つけ、「これまでの経験を生かして、地域と世界をつなぐ役に立てるかもしれない」と思い、応募しました。

今は、モンゴルの文化を多くの方に紹介し、理解していただくことを目標に活動しています。

ハロウィンイベントなどを開催すると、子どもたちが楽しそうにしている姿を見ることができて、本当にうれしく、やりがいを感じます。

これからも、地域の皆さんと一緒に国際交流を楽しみながら、モンゴルの伝統文化を紹介していきたいと思っています。ぜひイベントに気軽に参加して、モンゴルの伝統文化を体験してみてくださいね！

CIRの主な業務

- ・国際交流イベントの企画・運営
 - ・学校等に訪問し、児童・生徒との交流
 - ・市民を対象とした語学レッスンの講師
 - ・CIRのつばやきによる母国文化の紹介
- ▲詳しくはP19をご覧ください。

▼チングスハン国立博物館



▲イベントで、モンゴルを代表する弦楽器「馬頭琴」やモンゴル伝統文字の書き方を紹介しています。



特集 世界とつながる まち滝川

本市では、語学講座やイベントによる外国人との交流やスタディツアー、国際交流員による地域活動など、多様な形で交流の輪が広がっています。

今回の特集では、滝川と世界とのつながりに目を向け、国際交流の“今”を見つめます。



▼趣味は着物を着ること。



▲FMG'Sky「てい～ずる～む」でアメリカ文化を紹介しました（77.9MHz土曜日11時～）。

昔から着物などの日本文化に興味があり、大学生のときに日本へ留学しました。留学中、ホストファミリーから「アメリカの文化を日本に住む人たちに紹介する仕事がある」と教えてもらい、その時初めて国際交流員という仕事を知りました。

アメリカでは日本について詳しい人が少なく、帰国後にアメリカの友人に日本の文化を伝えた際、自分が文化について説明をして知ってもらえることに喜びを感じました。そこで、アメリカの文化を日本の方々に紹介して知ってもらいたいと思い、国際交流員になることを決めました。

一番印象に残っているのは、ジュニア大使の短期留学に通訳として参加できたことです。実際にアメリカに行き、自分の国の文化や生活について紹介できたことは、とても貴重な経験でした。

アメリカについて知りたい方は、気軽に声をかけてください。私たちが開催しているイベントに参加して、一緒に文化をシェアしましょう！

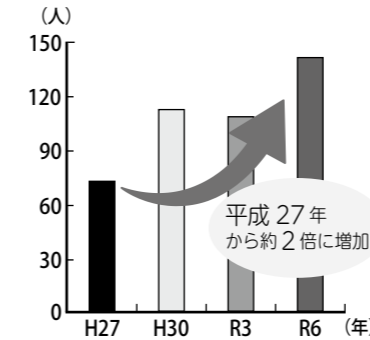
ビエルマ・アシュリー

Bierma Ashley



アメリカ出身国際交流員
ビエルマ・アシュリーさん

市内に住む外国人の推移



外国人とともに 支え合う地域社会へ

まちを歩いてみると、外国の方を見かける機会が増えてきたと感じる方も多いのではないのでしょうか。

現在、日本には約350万人の外国人が生活しています。本市でも、令和6年末時点で142人の外国人が暮らしている、平成27年に比べ、約2倍になりました。

そうした中、言葉や文化の違い、慣れない日本での生活に戸惑い、日々の暮らしの中で、不安や困りごとを感じている外国人の方も少なくありません。

また、市内に住んでいるだけでなく、観光や研修などを目的に、本市を訪れる外国の方も年々増えています。

多様な形で 広がる国際交流

滝川を訪れる方や住む方にとって過ごしやすいまちであるためには、お互いの文化や価値観を理解し、尊重し合うことが外国人とともに支え合う地域社会につながります。

本市では、平成5年にアメリカのマサチューセッツ州スプリングフィールド市、令和5年にロングメドール市と姉妹都市提携を結んでおり、長年にわたって交流を続けています。交流の一環として、平成2年から「ジュニア大使訪問団派遣事業」を実施しています。これまでに延べ225人の中学・高校生が姉妹都市を訪れ、現地の文化や生活を体験してきました。

こうした国際交流は、海外の文化に触れる貴重な機会であると同時に、異なる価値観を理解し、視野を広げるきっかけにもなっています。

本市では、姉妹都市との交流に加えて、国際交流員（CIR）や滝川国際交流協会による地域での活動、市民の方が参加できるホームビジットなど、さまざまな形で国際交流を推進しています。

世界とつながる第一歩

世界に一步踏み出す～スタディツアー～

最新情報は滝川国際交流協会 Facebook からご確認ください(下記二次元コード)。

スタディツアーは、市内在住または市内高校に通う1～2年生が対象のプログラムです。実際に海外を訪問し、現地での視察研修や交流を通して、国際的な視野を広げ、多様な場面で活躍できる人づくりを目的とした取り組みです。

マーライオンパーク
有名なマーライオンが見られるスポット。実はここでは、マーライオンが2体います。



◀**シンガポール国立大学**
参加者が一番楽しみにしていた訪問先。参加者によるプレゼンや交流を通じて文化の違いを学びました。



令和6年参加者 一番の思い出は、シンガポール国立大学での大学生との交流です。授業参加、英語でのプレゼン、大学生とのランチやキャンパスツアーは、大切な思い出です。
ツアーに参加したことで、英語力を試すことができ自信ができました。



加藤笑顔さん

家庭でつながる国際交流～ホームビジット～

興味のある方は、滝川国際交流協会 TEL:74-8580 までお問い合わせください。

ホームビジットとは、外国から来た研修員や留学生が現地の一般家庭を短時間訪問し、その家庭の日常生活を共に体験する交流プログラム的一种です。

ホームビジットのメリット

- ・短時間の交流のため気軽に参加できます。
- ・世界各地に友人ができます。
- ・異文化交流によって新しい発見があります。



ホストファミリーの声

橋本さんご家族



(左から) 橋本裕美子さん、美鈴さん、美和さん、美里さん、広樹さん

子どもたちが通っていた英語教室でホームビジットの受け入れについて知りました。ホームステイとは違って、ホームビジットは日帰りで行われているためハードルが低く、子どもたちが外国の文化に触れられる貴重な経験だと思い、受け入れを始めました。

最初は不安もあり、一番下の子どもが緊張して泣いてしまったのですが、回数を重ねるうちに英語で話したり、習字やカードゲームをしたりして、外国の方と一緒に楽しく過ごせるようになりました。

言葉が通じなくても、コミュニケーションで気持ちは伝わるんだなと感じています。子どもたちにとっても、楽しく異なる文化を学ぶ良いきっかけになっています。

滝川市公式
ホームページ



滝川国際交流協会
Facebook



滝川国際交流協会ってどんなところ？



滝川国際交流協会は、平成2年に「滝川市国際交流協会」として設立され、現在に至るまで、滝川での国際交流を推進し諸外国の方々と相互理解と友好親善を図る活動を行っています。

～主な活動内容を3つに分けてご紹介～

交流する



地域に住む外国人と交流するほか、諸団体の国際交流を推進するための活動に取り組んでいます。

世界を知る



語学講座や世界を知る講演会など、外国文化を学ぶことを目的とした活動に取り組んでいます。

国際協力をする



JICAなどの団体からの研修受け入れを行い、世界と滝川の国際協力に取り組んでいます。

滝川国際交流協会 職員にインタビュー

好きな日本食
白米とみそ汁



滝川国際交流協会
森田詠美さん

「国際交流協会」と聞くと堅いイメージを持たれるかもしれませんが、そのようなことはなく、食の文化を楽しみながら交流する「世界の料理教室」をはじめ、気軽に参加できて、どんな方でも仲良く活動できる場所です。

外国に行けない方でも、ここでは外国の文化に触れることができます。以前出会った外国の方が、また会いに来てくれることもあるんですよ。

そんなつながりが生まれるのも、この活動の魅力だと思います。気軽に参加していただけたらうれしいです。

滝川市に来てもうすぐ3年になります。来たばかりのころは、日本語が話せませんでしたが、滝川国際交流協会が開催している日本語教室に参加することで、少しずつ話せるようになり、7月に行われた日本語能力検定では3級に合格しました。

市民の皆さんがとても親切で、困ったときにはいつも助けてくれます。そのおかげで、大きなトラブルもなく、安心して生活できています。

これからも、たくさんの人と交流しながら、滝川市での生活をしたいと思います。

滝川在住の外国人 にインタビュー

好きな日本食
天ぷら



ウズベキスタン出身
マンズルベックさん

在留外国人支援事業

対話・交流をしながら日本語を学ぶ教室

「たきかわにほんごひろば」

10月19日(日)

場所：たきかわ観光国際スクエア 実施日程

時間：午後1時から午後3時

※月1回～2回開催しています。

※初めて参加する人は、電話してください。

滝川国際交流協会 TEL:74-8580



共に暮らしていくための豆知識

相手に伝わりやすい

「やさしい日本語」を使ってみませんか。

やさしい日本語って何？

やさしい日本語とは、日本語に不慣れな人にも、伝わりやすくするために、難しい言葉を簡単な言葉に言い換え、相手に情報を分かりやすく伝える日本語のことです。

やさしい日本語のポイント

- ★簡単な言葉を使う
例) こちらにお越しください。
→ ここに来てください。
- ★はさみの法則を意識する
(は)っきり (さ)いごまで
(み)じかく言う